

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和元年6月7日

計画の名称	宝塚市 安全・快適で緑豊かな地域づくり				重点配分対象の該当	
計画の期間	平成29年度	～	平成33年度	(5年間)	交付対象	宝塚市
計画の目標						

里山の植生の保全・再生を行うとともに、計画地の自然環境を活かしながら、市民憩いの場、地域活動の場、環境学習の場として活用し、子供から高齢者まで様々な世代に喜ばれるよう、その機能や魅力を高めていくことを目的に、未来を担う子供達のゆりかごとするため、多様な地域性生態環境を再生する実践の場として整備し、「緑の循環都市・宝塚」～ひとと緑がいきいきと循環するまちづくり～を実現する。

計画の成果目標（定量的指標）	公園敷地全体を整備することにより、利用者数を2万人から6万人に増加させる。
----------------	---------------------------------------

定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値			備考				
					当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)					
	基本構想に基づき、平成33年度までに整備が必要とされる区域の整備達成率を計測する。 (整備区域達成率) = (目標年次における公園施設整備区域数) / (H33年度までににおける公園施設整備区域数)				0%	50%	100%					
	北雲雀さずきの森緑地の来園者数を2万人から6万人に増加させる。				2万人	4万人	6万人					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	242百万円	A	242百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	-

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	公園	一般	宝塚市	直接	宝塚市	都市公園等事業（北雲雀さずきの森緑地）	施設整備 A=28ha	宝塚市						242			
									合計					242			

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
									合計								

C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和元年6月7日

計画の名称	宝塚市 安全・快適で緑豊かな地域づくり			重点配分対象の該当
計画の期間	平成29年度	～	平成33年度	(5年間)
計画の目標	交付対象 宝塚市			
<p>里山の植生の保全・再生を行うとともに、計画地の自然環境を活かしながら、市民憩いの場、地域活動の場、環境学習の場として活用し、子供から高齢者まで様々な世代に喜ばれるよう、その機能や魅力を高めていくことを目的に、未来を担う子供達のゆりかごとするため、多様な地域性生態環境を再生する実践の場として整備し、「緑の循環都市・宝塚」～ひとと緑がいきいきと循環するまちづくり～を実現する。</p>				

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	10	20	16		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	10	20	16		
前年度からの繰越額 (d)	0	10	10.664		
支払済額 (e)	0	9.336	8.201		
翌年度繰越額 (f)	10	10.664	7.799		
うち未契約繰越額 (g)	1.409	1.089	1.234		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	14.09%	3.63%	4.63%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	<p>契約済みの設計委託業務が地元協議に時間を要したため契約期間延期となり、その業務結果を受けて発注予定であった業務の発注が出来なかったため。</p>				